カンガルーに当てないように ご用心!

松山 久秋

友人とオーストラリアのブリズベンに行き、7日連続でゴルフ。以下その体験記です。8月末、オーストラリアは冬から春に向かう時期。でも、寒くはなく、最低14、最高25位でゴルフに最適の気候でした。この時期、もっと南に下ったシドニーやメルボルンは寒くて雨続きだったようなので、ブリズベンに行って正解でした。

7日連続のゴルフに驚かれますが、二人 乗りカートでボールの所まで行くので彼 ません。8時頃のスタートで12時半頃に ラウンド終了。日本でハーフラウンド終了。日本でハーフラウン 気分で、疲れはありません。 ジステンではありません。 ではないがありません。 ではないがあります。 が多いに、 はまった。 が多いにはまった。 が多いにはいるいのは、 ではいているとのでいるに がまる人がほとんどいのは、 シのゴルフの特徴の一つだと思います。

なぜ歩く人が少ないか?その理由はゴルフ場の広い敷地にありそうです。18ホールのゴルフ場で比較すると、ブリス場のゴルフ場は、多分日本のゴルフ場は、多分日本のゴルフ場は、多分日本のゴルフ場は、多分日本のゴルフはないでしょうのホールを終わって、次でがあります。で、ボストにカースがあります。で、歩いて回るのは相当難儀そうですが、歩いて回るのは相当難儀そうですが、ケッグ・ノーマン設計のコースも回りましたが、ク・ニクラス設計のコースも回りましたが、

日本のように敷地を有効に使うという必要性は一切なく、広い所に勝手気ままに18ホールを配したという感じでした。

コースにカンガルーが出没するのには驚 きました。カンガルーの一日は、日陰に寝 そべっているか、草を食べているかですの で、プレーの邪魔にはならないですが、た まにピョン、ピョンと、ゆったりと跳ねて 移動します。ボールが当たることもあるの で、彼らがグリーンを横切るまではプレー は小休止です。跳ねている姿がカンタス航 空のロゴにそっくりですので、今度飛行場 に行かれたら、チェックしてみてください。 カンガルーがいたコースは、かつて、バブ ル期に日本のある大手銀行が多額の融資を して焦げつき、破綻の一因となった大規模 リゾートのゴルフ場、サンクチュアリー・ コーブ。絵のように美しいコースでした。 ここの他にも日本のディベロッパーがリゾ ート開発を行い、バブル崩壊後に二束三文 で売り払って撤退した、そういうコースが 何カ所もありました。

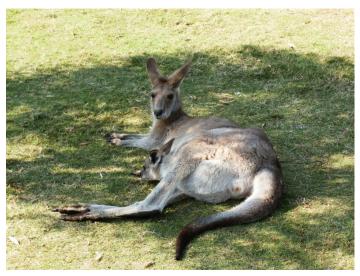
カンガルーの他にも、日本では見られない自然に溢れており、何種類もの珍鳥にためいりました。鶴を少してひいませいでは見られましたでで、当時でも見られますのではいる。電子ではいるのはいますが、「でのはないではいるのではいるのではないではいますが、「ピーナーのはいいではいるのは、「ピーナーはいるのは、「ピーナーはいるのは、「ピーナーは、「ででしているのができます。」というには、「でいるのが、「でいるのが、「でいるのが、「でいるのが、」というというです。

残念ながら、コアラには会えませんでした。ゴルフ場にはユーカリの木が多いですが、コアラはオーストラリア全体で10万

頭程しかおらず、絶滅の危機にあるのだとか。カンガルーは何千万頭もいて、計算をしているそうです。クイーンを最近開いたといるでは、本のでは、本のでは、ないました。では、ないでは、では、ないでは、では、ないでは、では、ないでは、まさに自然がいっぱいです。まさに自然がいっぱいです。まさに自然がいっぱいです。まさに自然がいっぱいです。まさに自然がいっぱいです。まさに自然がいっぱいです。まさに自然がいっぱいです。まさに自然がいっぱいです。まさに自然がいっぱいです。まさに自然がいっぱいです。まさに自然がいっぱいです。まないのもいました。

電話でスタート時間の予約をし、「マツヤマ」と名前を告げると、"Oh, famous name!" と言われることがあります。去年、サンディエゴでゴルフした時もそうでした。ヒデキ・マツヤマのおかげで、ゴルフ場では「マッヤマ」の名前の通りが良くなりました。 英樹君、ありがとう。今度"famous name!" と言われたら、"This is his father."と冗談で言ってみようかな。

ゴルフには関係ありませんが、カンガルーの肉を食べました。最初に泊まったホテルの、ちょっとしゃれたレストランで、燻製のカンガルー肉がアントレにあるのを見つけました。脂肪の少ない赤身の肉でしたが、煙のにおいがきつくて味は分かりませんでした。



(子供がお腹の袋から顔を出している)